

平成26年度

第2回水戸市文化財保護審議会

日 時 平成26年11月19日（水）

午後2時から

場 所 水戸市総合教育研究所 研究室7

議 題

1 協議事項

- (1) 国登録有形文化財建造物への登録に向けた取組について
- (2) 国指定天然記念物「白旗山八幡宮のオハツキイチョウ」の再生について

2 報告事項

- (1) 弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想について

3 審議事項

- (1) 文化財指定申請のあった物件の調査について

4 その他

水戸市教育委員会事務局文化課

協議事項(2)

国指定天然記念物「白旗山八幡宮のおハツキイチョウ」の再生について

ア 白旗山八幡宮のおハツキイチョウについて

おハツキイチョウは葉の柄と実の柄が癒合し、葉の上に実がつくイチョウの変異種であり、全国で約60個体が確認されている。

八幡宮の拝殿東側に生育するおハツキイチョウは、樹高約35m、根回り約9.5mと枝張りがよく、幹にはイチョウの巨樹に見られる特徴の一つである乳柱の垂れ下がりが多数見られる。樹齢は400年とも600年ともいわれ、おハツキイチョウとしては最大級の巨樹である。宝永4(1707)年、八幡宮が現在位置に遷座した時期にはすでに存在していたと考えられる。

表 国指定天然記念物となっているおハツキイチョウ

No.	指定名称	所在地	指定年月日	樹高(m)	樹齢(年)	備考
1	早田(わさだ)のおハツキイチョウ	山形県鶴岡市	昭和26年6月9日	24	200	実の付き方が変異に富む
2	白旗山八幡宮のおハツキイチョウ	茨城県水戸市	昭和4年4月2日	35	400~600	
3	杉森神社のおハツキイチョウ	福井県大飯郡高浜町	昭和10年8月27日	32	100	2株
4	上沢寺(じょうたくじ)のおハツキイチョウ	山梨県南巨摩郡身延町	昭和4年4月2日	38	700	
5	八木沢のおハツキイチョウ	山梨県南巨摩郡身延町	昭和15年7月12日	25	200	雄株
6	本国寺のおハツキイチョウ	山梨県南巨摩郡身延町	昭和4年4月2日	25	700	
7	了徳寺のおハツキイチョウ	滋賀県米原市	昭和4年12月17日	12	150	

イ 現況と課題

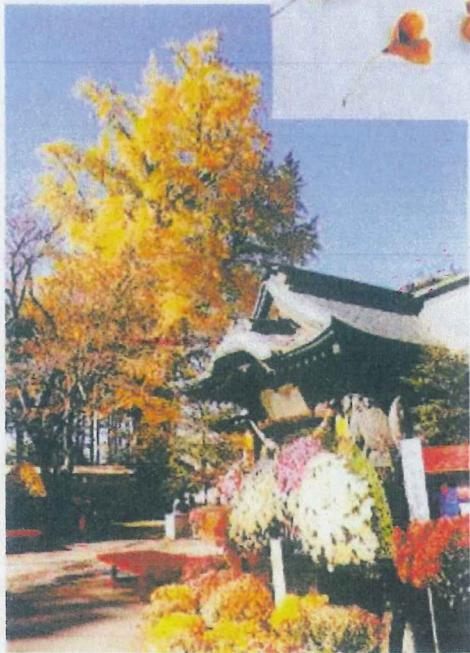
近年、樹勢の衰えが目立ち始め、平成26年に入り、樹冠部の葉が不自然に枯れるなどの減少が見られるようになったことから、樹木医に鑑定を依頼した結果、樹勢衰退の原因は以下にあることが判明した。

原因① 根回りの土が踏み固められ、根が酸欠状態にある。

原因② 幹が何らかの損傷を受けて、それより先の枝葉に影響が出ている可能性がある。

ウ 今後の進め方(案)

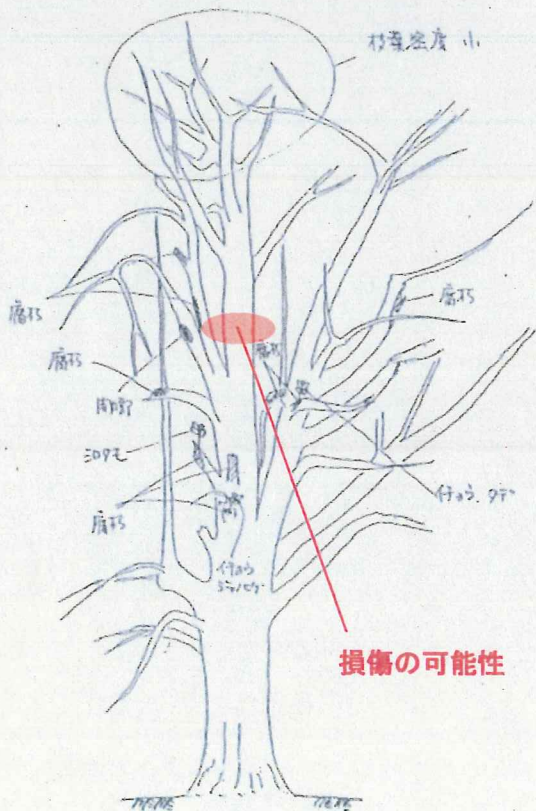
実施時期	内容
平成27年4月 6月	樹木医による詳細な調査の実施 ⇒樹冠、大枝部、幹部のそれぞれについて樹木医の詳細な調査の実施 土壤改良 ⇒肥料の攪拌混入、圧縮空気の注入等の実施 踏圧対策のための木柱柵設置 枝剪定と腐朽部消毒等
平成28年1~3月	⇒クレーン車による痛んだ枝の剪定、腐朽部の洗浄、殺菌剤塗布



白旗山八幡宮オハツキイチョウと実



調査時の様子（平成26年10月末時点）



模式図



(柵を今以上に広げる必要がある。)

根本の様子